

特ラ機構レポート No.196

令和6年1月1日

新年の挨拶	2
令和5年度 第3回 理事会 報告	3
運用連絡と調整の総件数	9
イベント報告	11
新規加入会員紹介コーナー	12
イベント情報	14
八幡泰彦「Y2 Farewell Ceremony」 87th Birthday-Connect to the future-	15
Inter BEE 2023（国際放送機器展）	18
モータースポーツ無線協会からのお願い	22
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に 向けた電波発射について	23
第24回 特ラ機構 技術賞 募集	24
事務局員年頭挨拶	25
事務局便り	27





新春のご挨拶

(一社)特定ラジオマイク運用調整機構
理事長 渡邊 邦男



新年あけましておめでとうございます。

いま世界では、未だ出口の見えない侵攻による戦闘や紛争など、人の愚かさが起こした取り返しの効かない決断が、何の罪もない子供たちを含む大勢の庶民を傷つけ苦しめています。1日でも早く平穏な街が、市が、国が、世界が、戻ってくることを願っています。

一方、国内では、長い期間新型コロナウイルスの感染防止の対応に追われながらも、的確に除菌の範囲を広げ消毒の精度も高めてきたことが、昨年5月の5類移行へとつながったと思います。移行から数ヶ月後には、出演者へ個別に除菌済マイクを届けることを止め、マイク置場での装着に戻したという報告も頂きました。しかし、5類移行後も現場スタッフが感染した場合を想定し、補充人員の確保が必須となっているため中堅スタッフを用意しておくことに苦労している。という状況が今も続いていることは、気掛かりでなりません。しかし、なによりも仕事の数がコロナ禍の前

に戻った、という報告が大多数を占めていたのが喜ばしいことです。

マイク類の除菌については、これからも実行して行くことになると思うので、今後の基準となる除菌対策を、当機構の技術委員会で探り、決めていければと考えています。

昨年10月27日には、コロナ禍で延期になっていた「八幡泰彦前会長のお別れの会」を、株式会社エス・シー・アライアンスとの合同で行うことができました。詳しくは、p-15の八幡泰彦「Y2 Farewell Ceremony」を御覧ください。

さて、今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」です。干支は「天干地支」(てんかんちし)ともいうそうで、十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)は10種で「天干」の名の通り昼の天に輝く太陽を象徴とした生命の循環を表し、十二支(子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥)は12種で「地支」の名の通り大地の恵みの生命循環を表し、夜の空に浮かぶ月を象徴としています。干支はこの2つを組合せて構成される「暦」の一種で、60年周期で循環する「還暦」とも言われています。

また、干支は古来より、効率的な農業の指針や災害予測、人生に迷ったときの羅針盤として、物質・精神を問わずさまざまな用途で使われてきた暦だそうです。

今年の「甲辰(きのえ・たつ)」は、十干の1番目の「甲」に、十二支の5番目の「辰」が重なった年です。それによると「甲辰」は、「春の日差しが、あまねく成長を助ける年」になるらしく、春の暖かい日差しが大地のすべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う年になるかもしれません。しかし、すべてのものに平等に降り注ぐということは、これまで陰になっていた部分にも日が当たり、報われ、大きな成長を遂げるといったことが期待できますが…逆に、自分にとって隠しておきたい部分にも日が当たり、大きな変化が起きる可能性もあるともいえます。(参考文献 村上瑞祥の記事の抜粋：干支「甲辰」はどんな年)

特ラ機構では、昨年に引き続き「TV ホワイトスペース帯と専用帯の有効利用」について、総務省のご指導のもと、各方面への働き掛けと協力体制を維持しつつ、会員の皆さまを対象とする講習会の開催を、技術委員会を中心に令和6年度中に立案する所存です。準備が整うまでには模擬講習会等でご協力頂くことになると思いますのでよろしくお願い致します。

最後に2024年が皆さまにとって素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和6年 元旦

[理事会報告] 令和5年度 第3回 理事会 報告

1. 日 時 令和5年 12 月 6 日(水) 15 時～17 時
2. 場 所 「主婦会館 プラザエフ」 3階ソレイユ
3. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22 名)
 出 席 [理事長] 渡邊邦男
 [理 事] 池上行大, 岩井佳明, 大塚 豊, 小野良行, 金光浩昭, 北口紀雄,
 小林 敬, 小間新五, 鈴木久利, 瀬谷正夫, 西澤勝之, 吉田廣嗣
 [監 事] 伊藤 博, 國枝義久
 委任出席 [理 事] 石橋 透, 上田好生, 古藤 崇, 則行正信, 萩原桂吾, 本間俊哉,
 右田研介

4. 令和5年度 第3回理事会 開催挨拶

本日はご出席いただき誠にありがとうございます。

今回の理事会は、中野を飛び出し「四谷の主婦会館プラザエフ」で開催しました。今後の理事会会場をどこにするかは、皆様のご意見を伺った上で決めたいと思っています。

さて、皆さまご存じのように、八幡泰彦前会長の「お別れの会」が、ご存命なら87回目の誕生日となった10月27日(金)に、早稲田のリーガロイヤルホテルで開催されました。会は200名を超える参加者で大いに盛り上がり、八幡さんらしい楽しい素敵な会になったことをご報告申し上げます。

また、今日、12月6日(水)は「音の日」です。

この記念日は、日本オーディオ協会が1994年に制定したもので、今年で39年目です。なぜこの日が「音の日」になったかということ、発明王のトーマス・エジソンが1877年12月6日に世界初のフォノグラムという「蓄音機」で録音と再生の実験に成功した日だからだそうです。

ちなみに、この実験に使われた曲は「メリーさんのひつじ」だったそうです。今日の理事会が「音の日」だったので、お話しました。「音の日」を拡散して下さい。

渡邊理事長より上記の挨拶があり、令和5年度第3回理事会が開始された。

5. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料：9～11頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかったが、令和5年11月17日(金)、「Inter BEE」会場幕張メッセにて小川技術委員長(ソニー株)と甲田テクニカルチーフが今後の対応などについて協議した。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 24 回特ラ機構技術賞の募集について、令和 6 年 1 月 1 日(月) 発行の『特ラ機構レポート 196 号』に募集案内を掲載・同封する予定。募集の締め切りは例年どおり、3 月 31 日(日) としている。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

第 99 回編集委員会は、令和 5 年 11 月 20 日(月)に当機構事務局にて開催した。出席者は 4 名。195 号を振り返って反省点等を確認した他、196 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

『特ラ機構レポート 195 号』は、令和 5 年 10 月 27 日(金)に発送済。196 号は 12 月下旬に発送予定となっている。内容は、新年号なので理事長、事務局メンバーの新年挨拶文、理事会報告、「Inter BEE2023」報告記事などを掲載予定。

(3) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 各総合通信局関連

令和 6 年度の再免許手続きについて、当機構が把握する再免許対象局数と総務省側のデータとの間で差異がないか、各総合通信局と確認作業を進めている。その他、通常の免許申請や変更申請等においても、各総合通信局の担当者にはご協力を頂いている。

② ARIB 関連

今期、関係する会議等の開催はなかった。

(4) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会 (WS 協議会)

① 統合 DB 作業班

今期の開催はなかった。

② 幹事会

今期、幹事会の開催はなかった。

③ WS 協議会負担金の支払い状況

令和 5 年度第 2 四半期の WS 協議会負担金（新規分の登録費・運用調整費）について、WS 協議会側と確認作業を完了し、第 2 四半期が合計 412,900 円となった。

令和 5 年 10 月 17 日(火)に支払い済みとなっている。

(5) チャンネルリストについて (令和 5 年 10 月 1 日～11 月 30 日)

令和 5 年 10 月 11 日(水)、総務省関東総合通信局ならびに近畿総合通信局、北陸総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は 10 月 26 日(木)に運用調整システムへの登録を完了した。

<新たに追加された施設>

GFE Studio Yoyogi, アーバンメイツ, 久太郎町 3 丁目交差点, 博労町 3 丁目交差点, 新橋交差点, GINZA HOTEL by GRANBELL, 氷見市芸術文化館

＜変更修正された施設＞

- EJ アニメシアター新宿 ⇒ 施設名称変更 Kino cinema 新宿
- 氷見市芸術文化館 ⇒ 適用エリア名称修正 (屋外) 青空広場
- Cyber Z ⇒ 施設名称変更 Z Studio
- 千葉公園ドーム ⇒ 施設名称変更 TIPSTAR DOME CHIBA (千葉 JPF ドーム)

(6) 情報通信月間協議会報告

令和5年11月15日(水)、Web会議にて第3回運営連絡会が開かれた。主な議題として、以下の4項目について報告や審議があり、すべてについて承認された。

なお、当日は石川統括チーフが所用のため欠席とした。

- 1, 「2023年度情報通信月間行事实施状況報告」
- 2, 「2023年度情報通信月間推進協議会決算(見込)」
- 3, 「2024年度情報通信月間推進協議会行事实施計画(案)」
- 4, 「2024年度情報通信月間推進協議会予算(案)」

(7) 令和5年度の再免許手続き

令和5年11月17日(金)、再免許対象会員(570会員)へ関係書類の発送をおこなった。必要書類の返送の締め切りは12月4日(月)となっており、未着の対象会員については、個別に連絡をとって対応している。

(8) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

令和5年11月の名古屋地区・三重地区の実験スケジュールの告知をおこなった。

10～11月の期間に実験対象となるTVchを使用したいという運用連絡が10件あったが、すべて対象のTVchを避けての運用にご協力頂いた。

(9) 短信、その他

① Web サイト更新

チャンネルリスト検索システム等の定期更新をおこなった。また、Webサイトの更新内容や周波数配分の情報等をTwitterにて告知した。その他、告知事項があれば随時更新をおこなう予定。

② 「TVWS帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会」

「TVホワイトスペース帯ラジオマイクの利用効率」に関する報告書については、令和5年3月末まで開催した調査検討会構成員の承認を頂いた上で、総務省関東総合通信局に納められた。

今後は、TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会をはじめ、関係諸団体と共に、実運用に対応するための協議を進め、更なる利用効率の向上に向け務めて参りたい。

③ 700MHz帯等移動通信システムアドホックグループ

令和5年10月23日(月)、715～718MHzの3MHz帯における携帯電話への利用が総務

省から発表され、楽天モバイル株式会社に周波数が割り当てられた。

令和5年11月21日(火)、楽天モバイル株式会社の藤田様、市川様、中野様が特ラ機構事務局を訪問され、渡邊理事長ならびに甲田テクニカルチーフが今後の対応などについて協議した。

④ JAPAN MOBILITY SHOW 2023

「令和5年10月26日(木)～11月5日(日)、東京ビッグサイトで開催された『JAPAN MOBILITY SHOW 2023』の来場者は1,112,000人に上った」とのご報告、ならびに多くの会員社のご協力に対し、一般社団法人日本自動車工業会 菅野様から感謝のメールを頂いた。

⇒以上の報告事項について質問・意見を求めたところ下記の質問があった。

②及び③について

質問：技術的には問題ないと思うが、現場サイドから本当に実現するのかとの疑問があった。

Ans：ルールを遵守するところだけ使わせるという方向になっている。

※機構主催でセミナー等の開催を望むとの意見があった。

6. 【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和5年10月～令和5年11月分

【入 会】

東 北：株式会社盛岡舞台総合研究所

関 東：株式会社 Crisp Junk, 林 栄良, 柳田 亮二,
株式会社本田技術研究所 (35号館 5F 評価会室),
株式会社 TRIBALCON,
大堀 太輔, 佐藤 大輔, 合同会社 INrain, 株式会社 BEYOND

近 畿：株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 (大阪ステーションホテル),
サントリーパブリシティサービス株式会社 (茨木市文化・子育て複合施設おにクル)

九 州：株式会社バックステージ

【退 会】

関 東：独立行政法人日本芸術文化振興会 (国立劇場大・小劇場),
川崎市 (川崎市役所会議室), 株式会社東急文化村 (シアターコクーン)

東 海：株式会社 CUE

⇒以上の審議事項について全員の了承があった。

(2) 会員数

令和5年11月末現在 1,598 会員

(3) 無線局数

令和5年11月末現在 48,947 局

〈内 訳〉

① 470 ～ 714MHz 帯

ラジオマイク 35,431 局 (アナログ: 24,784 局, デジタル: 10,647 局)
イヤモニ 2,590 局 (アナログ: 2,588 局, デジタル: 2 局)

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 10,926 局 (アナログ: 580 局, デジタル: 10,346 局)

合 計 48,947 局 (アナログ: 27,952 局, デジタル: 20,995 局)

(4) 第 28 回 JPPA AWARDS 2024 後援名義許可依頼

一般社団法人日本ポストプロダクション協会より、「第 28 回 JPPA AWARDS 2024」開催の後援名義依頼を受取り、例年どおり後援名義使用許可書を提出した。

⇒ 以上の審議事項について全員の了承があった。

報告及び審議事項の後、理事監事の皆さんに近況を聞いた。

- ・ コロナ禍は収束しつつあり、仕事は順調になっているが人不足、物不足が生じている。
日本舞台技術スタッフ団体連合会 (JAS 連合) は 11 月 16 日(木) に念願のセミナー・懇親会を開催し、一同に会する事ができた。政治家には舞台に協力的な人もいるので、諸問題についてロビー活動を続けて結果を出してきている。
- ・ 現場は相変わらず忙しい。個人的にはラスベガスのスフィア (Sphere) に注目している。
映像もすごいが、360° スピーカーに囲まれた客席、キャパ 2 万人のアリーナに 3,000 億円以上の費用が投じられ、それをコロナ禍でも準備してきたのがすごい。
最近、日本のテクノロジーは弱くなっているが、これにワイヤレス技術がからむと、日本も何かできることがありそうだ。
- ・ コロナの話は聞かなくなったが、アルコール除菌等は続けていて無事に公演ができています。
- ・ 名古屋地区では、週末はイベント等で忙しい。大阪近辺の仕事まではいる。コロナ禍の話は聞かなくなったが、スタッフが不足している。
- ・ コロナがらみの話題は減っているが、インフルエンザがらみが増えている。関西地域も週末はイベントで多忙であるが、スタッフ (特に若者) が足りない。
- ・ 状況は大きくは変わっていない。ライブ配信が出てきたが、単価が安い。ドローンは採算がとれないので止めている。
- ・ 八幡前理事長の「お別れの会」に参加した。AI が作り出した八幡さんの声を懐かしく聞いた。

- ・コロナ禍に発生した人手不足が続いている。アシスタントの配置は難しい。
JAS 連合にはまだ加わっていないところを取り込んでいきたい。我々の業界も社会的な立場が確立してきたので、例えば、最近は項目が増え作成の負担が大きい見積もりも「プラン料」として費用を頂けるようにするなど、業界から底上げしていかないといけないと思う。若者が夢を見られるような業界にしていきたい。
- ・猛烈に忙しくなっているが人手不足である。コロナ禍の沈静化、治安の良さで国際会議の開催も増えている。
- ・NAB の話を聞くと、日本のテクノロジーが世界一にならない事が残念で悔しい。



運用連絡と調整の総件数

2023年10月～11月

理事会資料 R5-3-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数

表-1 各年度 月別運用連絡・調整総件数表

※ 2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	36,977	29,098	32,998	39,697	420,018	35,002
R5年度	35,629	37,617	38,656	37,804	39,047	41,695	50,307	45,091						

前年との差 +7,087 +5,851 +5,666 +3,072 +6,030 +2,732 +8,735 +5,425

表の数値のアンダーラインは月ごとの最大値

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移

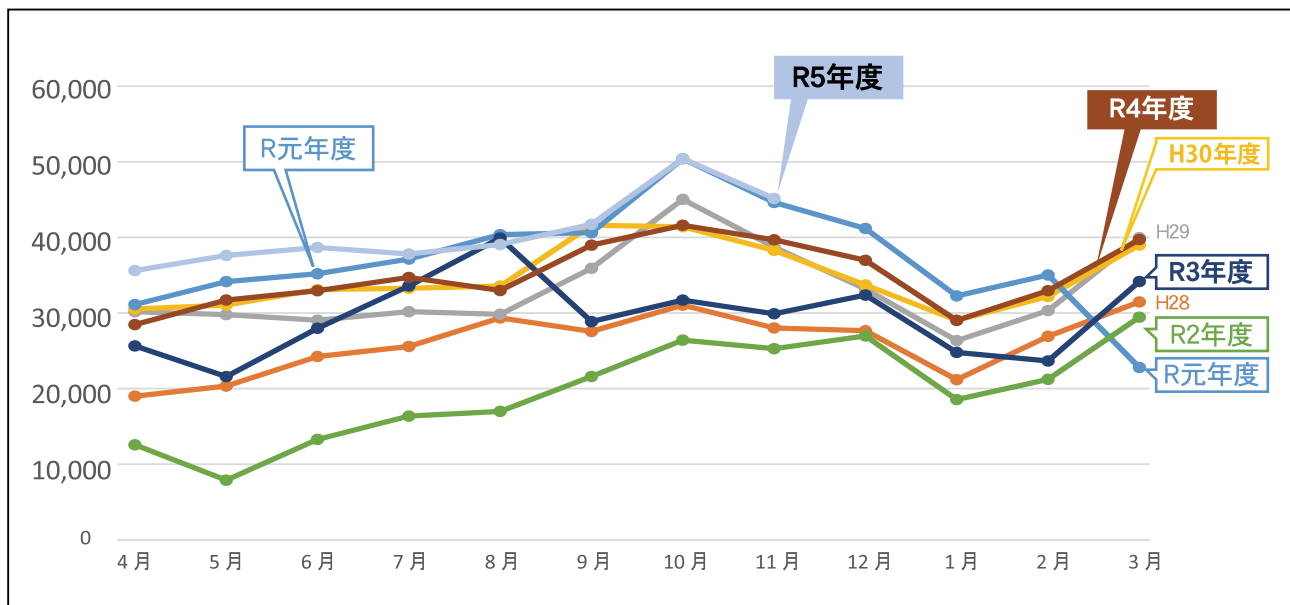


表-2

(1) 2ヶ月間の総件数を比較		
	2023年8月～9月	2023年10月～11月
前年	71,980	81,238
当年	80,742	95,398
増減	+8,762	+14,160

(2) 1ヶ月間の受信数を比較												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2024年1月	2月	3月
前年	13,023	14,383	14,801	15,274	14,367	16,003	18,061	17,533	15,703	12,715	14,601	16,341
当年	15,624	16,427	16,906	16,969	17,057	17,723	19,810	19,423				
増減	+2,601	+2,044	+2,105	+1,695	+2,690	+1,720	+1,749	+1,890				

2. 前年度と当期（2023年10月～11月）の運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

新型コロナの感染者数は、11月中旬の集計で3ヶ月ぶりの増加となった。また、インフルエンザについても、依然として増加傾向にあるため、現場での仕事では、現在実施している感染防止対策を徹底して、感染拡大を防ぐことが必要だと感じている。

このような状況の中、10～11月2ヶ月間の総件数は前年に比べ、14,160件増の95,398件となった。

（2）1ヶ月単位での運用連絡受信数及び調整送信数を含めた総件数の推移から、当期10月～11月を振り返る

総件数のグラフでは、2023年3月から11月まで、8月以外のすべての月でコロナ禍前の令和元年度（2019）を上回り、過去最大の総件数となった。また受信数でも、2023年2月以降11月まで10ヶ月連続で最大値を更新していることが分かる。これを過去最大の受信数を記録した2019年と比較すると、10月が1,217件増の19,810件、11月は1,016件増の19,423件となっており、前記のとおり2023年2月以降すべての月で最高の数値を記録した。

毎年12月から1月は、受信数や総件数が下がる傾向にあるが、月ごとの年度別最大値を更新することを期待する。

（3）受信・送信2ヶ月間を比較

表-3

	令和元年（2019年）		令和2年（2020年）		令和3年（2021年）		令和4年（2022年）		令和5年（2023年）	
	8～9月	10～11月	8～9月	10～11月	8～9月	10～11月	8～9月	10～11月	8～9月	10～11月
a. 受信	32,491	37,000	19,557	25,109	24,153	29,328	30,370	35,594	34,780	39,233
b. 送信	48,455	57,867	19,346	26,789	44,681	32,400	41,610	45,644	45,962	56,165
合計	80,946	94,867	38,903	51,898	68,834	61,728	71,980	81,238	80,742	95,398
比率(b/a)	1.49	1.56	0.99	1.07	1.85	1.11	1.37	1.28	1.32	1.43

【受信数】では、10～11月は前年の35,594件に対し、当期は3,639件増の39,233件と大幅に増加した。

【送信数】も前年に比べ、10,521件増の56,165件と大きく増加した。

【連絡数に対する調整数の比率】も、10～11月は1.43倍となっている。

3. 各年度の月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

表-4

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	36,977	29,098	32,998	39,697	420,018	35,002
R5年度	35,629	37,617	38,656	37,804	39,047	41,695	50,307	45,091					+65,015	+5,418

前年比 1.25倍 1.18倍 1.17倍 1.09倍 1.18倍 1.07倍 1.21倍 1.14倍 1.14倍 1.17倍 1.39倍 1.16倍

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和5年 10月～11月)

イベント名	日程	施設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
CEATEC 2023 ※	10月17日～20日	幕張メッセ	12	13	16	4	35	55
ツーリズム EXPO ジャパン 2023 大阪・関西 ※	10月26日～29日	インテックス大阪	17	24	50	10	31	91
Japan Mobility Show 2023 ※	10月25日～11月5日	東京ビッグサイト 東棟	24	5取材+32	132	7	57	196
Japan Mobility Show 2023 ※	10月25日～11月5日	東京ビッグサイト 西・南棟	16	5取材+21+ライブ	68	8	65	141
Inter BEE 2023 ※	11月15日～17日	幕張メッセ	17	17+リハ	68	3	73	144
IPF Japan 2023 国際プラスチックフェア ※	11月28日～12月2日	幕張メッセ	9	11+イベント	11	2	26	39
2023 国際ロボット展 ※	11月29日～12月2日	東京ビッグサイト	17	29	33	4	54	91

※ 周波数配分を実施したイベント

【周波数配分】

令和5年 10月4日(水)～10月6日(金)、「第14回高機能素材 Week」(幕張メッセ)にて運用された1.2GHz帯3社7ブース17局に関して、株式会社シネ・フォーカス様に幹事社をお願いして振り分けをおこなって頂いた。

幹事社をお引き受け頂いた、株式会社シネ・フォーカス様には感謝申し上げます。

令和5年 10月25日(水)～10月27日(金)、「第14回 Japan IT Week【秋】」(幕張メッセ)にて運用された1.2GHz帯8社10ブース32局に関して、株式会社映像センター様に幹事社を引き受けて頂き、周波数配分をおこなって頂いた。

株式会社映像センター様には感謝しております。

令和5年 11月15日(水)～11月17日(金)、「第45回ジャパンホームショー」(東京ビッグサイト東棟)にて運用された1.2GHz帯6社6ブース28局に関して、周波数配分の幹事社を株式会社ランブリッジ様をお願いした。

ご協力頂いた、株式会社ランブリッジ様には感謝申し上げます

5. 干渉報告

今期、干渉報告はなかった。

新規加入会員紹介コーナー

令和5年10月～11月

東北

- 株式会社盛岡舞台総合研究所
 入会：令和5年11月21日
 移動 WS帯 専用帯
 会員番号 020-0060
 シュア…12局

関東

- 株式会社 Crisp Junk
 入会：令和5年10月6日
 移動 WS帯 専用帯 1.2GHz帯
 会員番号 030-1197
 シュア…10局
 ゼンハイザー…2局
- 林 栄良
 入会：令和5年10月18日
 移動 WS帯 専用帯
 会員番号 030-1198
 WISYCOM…1局
- 柳田 亮二
 入会：令和5年10月24日
 移動 WS帯 専用帯
 会員番号 030-1199
 オーディオテクニカ…2局
- 株式会社本田技術研究所（35号館5F評価会室）
 入会：令和5年11月6日
 固定 専用帯
 会員番号 030-1200
 シュア…24局
- 株式会社 TRIBALCON
 入会：令和5年11月14日
 固定 WS帯
 会員番号 030-1201
 シュア…1局
- 大堀 太輔
 入会：令和5年11月22日
 移動 WS帯
 会員番号 030-1202
 ゼンハイザー…1局
- 佐藤 大輔（d-Crew310）
 入会：令和5年11月22日
 移動 1.2GHz帯
 会員番号 030-1203
 パナソニック…2局
- 合同会社 INrain
 入会：令和5年11月24日
 移動 WS帯 専用帯 1.2GHz帯
 会員番号 030-1204
 シュア…8局
- 株式会社 BEYOND
 入会：令和5年11月28日
 移動 WS帯 専用帯
 会員番号 030-1205
 シュア…2局
 【ひとこと】PA&SR業務に加え、配信収録音声業務も行っております。運用調整の際は皆様どうぞよろしくおねがいいたします。

近畿

- 株式会社ジェイアール西日本ホテル開発 (大阪ステーションホテル) 会員番号 070-0347

入会：令和5年10月2日 固定 1.2GHz 帯 シュア…13局

【ひとこと】2024年夏開業予定の「THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection」です。
JR大阪駅に直結し、全客室30階以上の高層階からの眺望や「天下の台所」にふさわしい食の魅力に
ふれるなど、唯一無二のここにしかない体験を提供します。
弊社HP：<https://osakastation-hotel.jp>

- サントリーパブリシティサービス株式会社 (茨木市文化・子育て複合施設おにクル) 会員番号 070-0348

入会：令和5年10月2日 固定 1.2GHz 帯 シュア…18局

九州

- 株式会社バックステージ 会員番号 100-0114

入会：令和5年11月13日 移動 WS 帯 専用帯 シュア…8局



イベント情報

2014年の周波数移行から数えて、2023年秋は運用件数が過去最大を記録するなど、イベントでの運用も多くなっています。

東京ビッグサイトや幕張メッセなどの大規模な施設等では、周波数配分を毎週の様におこなうことも多く、さらに余裕をもってご連絡ください。

(ホール No, ブース名称などの記載をお願い致します。)

日程	展示会名	会場
1月12日～14日	★ TOKYO AUTO SALON 2024	幕張メッセ
1月17日～19日	★ COSME WEEK 2024 東京	東京ビッグサイト
1月17日～19日	★第10回メディカルジャパン大阪	インテックス大阪
1月24日～26日	★第3回スマート物流 EXPO	東京ビッグサイト
1月24日～26日	★第16回オートモーティブワールド	東京ビッグサイト
1月24日～26日	★第38回ネプコンジャパン	東京ビッグサイト
2月13日～16日	★第52回国際ホテル・レストランショー	東京ビッグサイト
2月22日～25日	★ CP + 2024	パシフィコ横浜

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでもOKです。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

Email : office@radiomic.org



八幡 泰彦 特ラ機構・前会長

「Y2 Farewell Ceremony」 87th Birthday - Connect to the future -

日 時 令和5年10月27日(金) 第1部 15:00～
第2部 18:00～

場 所 リーガロイヤルホテル東京 3階 ロイヤルホール

主 催 株式会社エス・シー・アライアンス
代表取締役 山本 浩一
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
理 事 長 渡邊 邦男



八幡さんが亡くなって2年半の月日が過ぎました。令和3年2月25日のご逝去でした。コロナ禍だったため「お別れの会」は延期せざるを得ない状況でしたが、ここへきてコロナ禍が終息を迎えて八幡さんの誕生日でもある令和5年10月27日に開催の運びとなりました。

「Farewell Ceremony」と言えば「送る会」なのですが、送る想いに合わせて、87回目の誕生日に祝意を供し、八幡さんの数々の遺業に触れ感謝を謳う意味を込めての開催でした。



生前の八幡さんの考察を聞く SCA 社員の皆さん



SCAの歴史を語る創業に関わった皆さん



特ラ連創立 特ラ機構への発展

第1部は株式会社エス・シー・アライアンスの歴史を作った方々と現在を担う社員の皆さんを主体に、サウンドクラフトの創業からを辿りました。

第2部は八幡さんとゆかりのある方々にお集まり頂き、エス・シー・アライアンスの皆さん、特ラ機構のOBと局員、共に楽しく語り、飲み、ごちそうを頂く幸せな時間が出来上がりました。

AI技術で八幡さんの乾杯のご発声が会場に流れ、ご生前のあのふんわりとした又飄々とした笑顔を思い出し、会場は一気に打ち解けていきました。

特ラ機構渡邊理事長が「Farewell Ceremony」開催の挨拶と八幡さんが関わった特ラ連発足と沿革を紹介しました。



第2部 会場風景



八幡朝子夫人の挨拶

生前の八幡さんの人柄が多く参加者を呼び、来賓には業界で知られた方も多く、参加者は、老いも若きも、男性も女性も、偉人も社員・局員も同じ空気の中で故人を偲びながらも楽しい時間を過ごしました。

開催中にもスクリーンの八幡さんからの挨拶が流れ、懐かしさに涙ぐむ方も少なくありませんでした。

終盤には朝子夫人の心のこもったご挨拶がありお開きとなりましたが、余韻も温かく忘れられない会になりました。

【渡邊理事長の挨拶】

平成の時代から令和を迎え、早いもので令和も5年目となりました。

長く続いた昭和が平成になった時には、令和という新時代が天皇の譲位によってもたらされるとは想像もしていませんでした。

そして令和3年、コロナ禍のまっただ中の2月25日八幡さんが亡くなりました。

葬儀の時、SCAの松木さんに特ラ機構と合同で「お別れ会」をやりたいと相談し、山本社長、伊藤さん、本間さんたちの力を借り、今日の「八幡泰彦 Farewell Ceremony」を87歳の生誕祭として開く事ができました。関係者の皆様に心から感謝いたします。

私は特ラ機構で4代目の理事長をしておりますが、33年前の1990年特定ラジオマイク利用者連盟（通称：特ラ連）創設時の話を聞

くため、特ラ連時代から深いつながりがある東京サウンドプロダクション創設者の金子孝さん、日本PA技術者協議会時代から協会誌の編集をしていた加藤修さん、スタジオ録音のプロとして活躍し、その後特ラ連の事務局次長を務めた大野正夫さんのお三方にお集まり頂き座談会を開きました。

創設前後の苦労話を色々聞きましたが、その中で金子さんが八幡さんから聞いた言葉が強く心に響いたのでお伝えします。

『僕はロケットエンジンの1段目でいいんだよ。打ち上げたら切り離され燃え尽きて海に落ち、太平洋の藻屑になってもいい。その後続く人達が第2段、第3段と継いで、宇宙へ行ってくれば満足なんだ』

と・・・つまり特ラ連やS・Cアライアンス、ひいては音響業界のことだと思ったとのこと

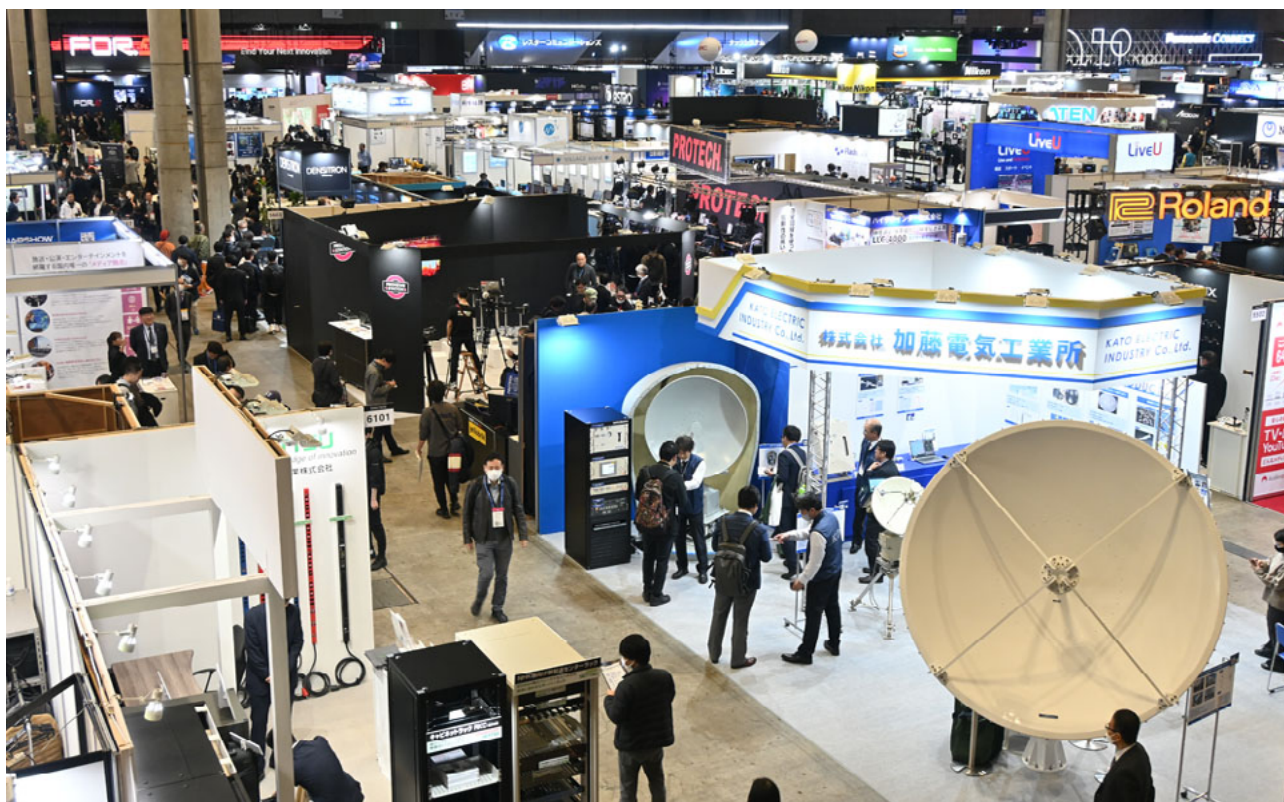
です。
自分は消えてもいいから、みんな頑張れよ！とのエールを頂きました。
八幡さん、ありがとう！

(事務局 木村 和子)



開催の挨拶と特ラ連、特ラ機構の沿革を語る渡邊理事長

Inter BEE 2023 (国際放送機器展)



日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展である「Inter BEE (国際放送機器展)」が、令和5年11月15日(水)～17日(金)の3日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されました。59回目を数える今回の「Inter BEE」では、アフターコロナ時代におけるメディア産業の新たな可能性を提示する展示会として、3日間で31,702名が来場。「プロオーディオ部門」のエリアに出展していた、特定ラジオマイクのメーカーや代理店を中心に当日の様子を紹介しましょう。

◆オーディオテクニカ



イヤーマニターの送信機「ATW-T3205 EG2」。“EG2”は運用しやすい専用帯を含んだ580.000～713.850MHzをカバー。さまざまな環境下でも設定やアラートが確認しやすい、有機ELディスプレイを搭載している。比較的安価でもあることから人気があるという



イヤーマニターの受信機「ATW-R3250」。アンテナダイバーシティでRFの安定性を向上。NiMHバッテリーで最大7時間の連続使用も可能だ

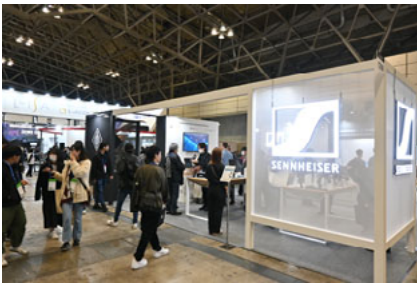
◆シュア



RF とバッテリー残量を同時に監視しながら、あらゆる音源のリモートモニタリング&リスニングができるソフトウェア「WAVETOOL」。チャット機能を使えば、他スタッフとのコミュニケーションもできるという

完全なる低音、クリアな中音域、きめ細やかな高音のバランスを備えているというワイヤレスマイクヘッド「KSM11」。写真はハンド型送信機「AD2」に取り付けられている

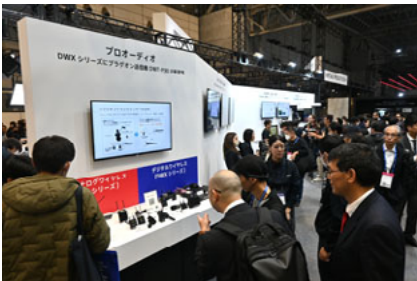
◆ゼンハイザー



電源 OFF 状態のハンド型送信機「EWDX SKM」。新たな E インクディスプレイを搭載しており、この状態でもディスプレイ上には送信周波数などが表示されるので、管理しやすくなっている

PoE 給電可能なハーフラック筐体の 2ch 受信機「EW-DX EM2」。最大 88 MHz のスイッチング帯域幅、機密コンテンツを安全に送信できる AES-256 暗号化を備えている

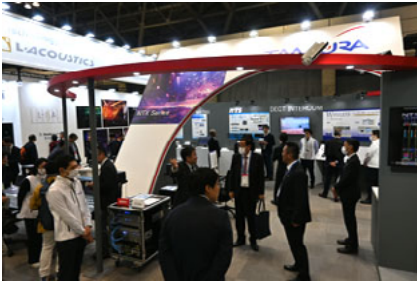
◆ソニー



汗や雨に強い防滴仕様のボディパック型送信機「DWT-B03R」やカムコーダースロットインタイプの受信機「DWRS03D」など、番組制作の現場で使われるワイヤレス機材を中心に展示されていた

新製品のプラグオン送信機「DWT-P30/B」。有線マイクを XLR タイプコネクタに接続することで、ワイヤレス運用が可能となる。例えばショットガンマイクに本機を接続することで、軽量化やケーブルレス化、電源の一元管理ができるようになる

◆タムラ製作所



1.9GHz 帯を使用した DECT 規格のワイヤレスインターカムシステムを展示。大規模システムの構築が可能で、最大 4 つの通話グループに対応することができる。子機は最大で 60 台接続可能だ

子機の「MK-B96A」。2つの通話グループを割り付けることが可能で、2グループの同時聴取や個別のつまみによる直感的な音量調整もできる

◆日本テックトラスト



ボディパック型送信機の WISYCOM「MTP60」。最大の特徴はレコーダーを内蔵していることで、本体に挿入された microSD カードへ 24bit / 32bit floating で録音することができる。Bluetooth 機能もあり、スマホアプリからリモートコントロールや設定の変更が可能となっている

完全防水ボディパック型送信機の Lectrosonics「WM」。砂場や水気のある環境でも使用できるよう、筐体には防水処理が施されている。会場では槽に沈められた状態で展示されていた

◆パナソニックコネクト



1.9GHz 帯を使った卓上型ワイヤレス送信機「WX-ST600」とゲースネックマイクロホン「WM-KG645」。トークボタンは静電容量スイッチを採用しているため、タッチすることで操作が可能。ボタンを押す際のカチカチ音などのノイズを防ぐことができるという

同じく 1.9GHz 帯のハンド型送信機「WX-ST200」。外部入力端子を備えているため、パソコンや音楽プレーヤーなどの音源を接続して、簡単に再生することもできる

◆日本舞台音響家協会

最新の機材が展示される「Inter BEE」だが、ここでは舞台用の音作りのためのアナログな道具たちが展示・実演されていた。また、往年のマイクロフォンの数々も展示され、人目を引いていた



◆日本舞台音響事業協同組合



日本舞台音響事業協同組合も出展。ポスターやパンフレットによる広報のほか、同組合がオリジナルで開発したマイクロフォン専用除菌消臭スプレー「MRC-ZERO」も展示されていた

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまでいなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です

Email : office@radiomic.org

モータースポーツ無線協会からのお願い

昨年9月に開催されました「F1 日本グランプリ」では、1.2GHz 帯 FPU・ラジオマイクの全帯域を使用する無線設備の運用につきまして、皆様のご協力を賜り感謝申し上げます。

おかげさまで、混信等もなく、無事レースを終了することができました。

さて、今年のF1につきましては、開催時期が秋から春に変更となり、令和6年4月5～7日の3日間、鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市）での開催となりますが、今回も、主催者から同じ無線設備のリクエストがあります。

現在、総務省様で周波数の審査をすすめていただいている段階ではありますが、この周波数帯の使用にあたっては、皆様との運用調整が必要ですので、昨年同様、ご理解・ご協力を賜りたく存じます。

無線設備を使用する期間は、試験電波発射なども含め令和6年4月4～7日の4日間となります。この間、鈴鹿サーキットでの1.2GHz帯の使用をお控えいただくようお願いいたします。

なお、当該周波数帯を使用する無線設備への干渉等の可能性は鈴鹿サーキット関連施設内のみであり、鈴鹿市内の他施設での使用は問題ありません。

<本件に関する問い合わせ先>

モータースポーツ無線協会 田中

電話：03-6402-2744 Eメール：t-tanaka@mosra.jp



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、地上デジタル放送の高度化に向けて、実験試験局での実証実験を継続して行っています。

2023年度は、東京・名古屋・三重地区において、実験試験局からの電波発射を計画しております。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2024年1月以降の電波発射スケジュールの詳細は調整を進めておりますが、現時点の計画は次のとおりです。変更が生じましたら改めてご連絡いたします。

< 2024年1月以降のスケジュール >

地 区	電波発射スケジュール[注1]	TVチャンネル	備 考
東京〔注2〕	1月9日～3月29日	UHF28ch	
名古屋(東山)	1月9日～3月29日	UHF35ch	
三重(津)	1月9日～3月29日	UHF25ch	

〔注1〕電波発射時間は、原則として土日祝を除く平日の10時～18時となります。

〔注2〕東京地区のUHF28chは、テレビホワイトスペースの割当がないため、特定ラジオマイクの運用調整は発生いたしません。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。日程が決まりましたら、当該免許人様と個別にスケジュール確認および運用調整をさせていただきます。その際はご協力よろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認いただきますよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ4K・8K実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしておりますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局



第24回特ラ機構技術賞

作品求む!

こんな作品を募集しています!!

■映画・番組・配信などの映像作品

■演劇・音楽・イベントなどの舞台作品

応募作品例：「ボランティアスタッフによるイベント・舞台公演」

「多数のマイクを使用する演目の PA や収録の工夫」

「良い音を収録するためのラベリア Mic 仕込テクニック」

「新しいシステムを活用した PA や収録」・・・etc

詳細は特ラ機構 Web サイトをご覧ください



事務局員 年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます

長引いたコロナ禍も収束の兆しで、皆様新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのご協力をありがとうございました。今年も更なる運用調整業務、免許申請業務の向上に局員一同努めて参ります。本年も皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(木村 和子)

謹んで新春のお慶びを申し上げます

運用連絡はコロナ禍前を上回る件数となり、免許申請の数も増え、おかげさまで事務局は忙しい日々を送っています。混沌とした世界情勢ではありますが、特定ラジオマイクが使われるイベントや舞台、コンサートなどが無事に開催されることのありがたみを実感しています。

今年も気を引き締めて、業務に努めてまいりたいと存じます。

(石川 来夢)

新年のご挨拶

昨年、2023年はコロナ禍が終息に向かう中、Japan Mobility Show2023をはじめ、多くの展示会やイベントが開催され、過去最大の周波数配分など、業務も多忙を極めました。

今年は昨年に増して運用連絡も多くなることが予想されますので、早めのご連絡をお願い致します。

(甲田 乃次)

新年明けましておめでとうございます。

戦争が無くなり、平和な1年になりますように。

今年も宜しく願いいたします。

(松崎 由紀)

新年明けましておめでとうございます。

免許関連、特ラ機構技術賞を主に担当しております。本年も宜しく願い致します。

(渡辺 聖尚)

明けましておめでとうございます。

今年も皆様の一助となるよう業務に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

(小西 咲絵)



事務局員 年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。

今年は昨年を経験を活かし、一層のサービス及びサポート品質向上に努めてまいる所存です。

引き続き、本年も変わらぬお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

(田口 斉)

新年明けましておめでとうございます。

昨年中は格別のご厚情に預かり、心より御礼申し上げます。

入局して半年が経ち、まだまだ知識不足を痛感している毎日ではありますが、本年も一層のサービス向上を目指し誠心誠意励んで参ります。

皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、本年も旧年と変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

(神守 綾)

新年のご挨拶

すばらしい一年になりますよう 心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(吉田 ひであき)



事務局便り



運用連絡票は2日前に提出を！

※固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません。

『運用連絡票』のご提出につきまして、直前での連絡が増えております。
運用2日前までに提出いただくようご協力をお願い致します。

【運用連絡票受付時間】

平日 9時30分～18時まで

※土曜日または3連休の中日も受け付けています。

※長期連休時の受付は当機構 Web サイトにてお知らせします。

【運用連絡票の送付先】

rm-unyo@radiomic.org

■令和5年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

令和5年度決算期日が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みをお願いします。



本年もよろしく
お願いいたします

編集後記

知人に会いに、数年ぶりに週末名古屋に行ってきました。
街はちょうどクリスマスイルミネーションでキラキラ☆。その中でも群を抜いて煌びやかだったのが、『ジェイアール名古屋タカシマヤ』1階玄関前の装飾。ホワイトを基調にシルバーやゴールドが散りばめられ、巨大なトナカイとサンタクロースが圧巻でした。さすが名古屋！眩しすぎる豪華イルミネーションにすっかり癒されました♪。



(松崎)

サンタの服は、赤ではなくゴールド！